

**現在、腎臓内科では治療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。**

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、当院倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の理由が認められ、承認された後、病院長の許可を得て下記の研究を実施しております。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究責任者までお問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報を「この研究課題に対しては利用・提供してほしくない」と思われた場合にも、下欄の研究責任者までその旨をご連絡ください。しかし、ご連絡いただいた時点ですでに研究結果が論文などに公表されている場合や研究データの解析が終了している場合には、解析結果からデータを取り除くことができず、研究参加を取りやめることができなくなります。

**【研究課題名】**

血液透析患者におけるバスキュラーアクセス(自己動静脈瘻)の静脈側再狭窄病変に対する薬剤溶出性バルーン(IN. PACT AV®)の効果の検討

**【研究対象者】**

2021年6月から2021年8月31日までに当院腎臓内科でバスキュラーアクセスの血管内治療(カテーテル治療)を受けられた維持血液透析中の方。

**【利用する診療情報】**

診断名、年齢、性別、治療手技内容、急性期・慢性期結果  
個人を特定される情報は使用いたしません。

**【利用の目的】**

維持透析患者のバスキュラーアクセス狭窄に対する薬剤溶出性バルーン使用の治療成績を検討することにより、安全性を評価し、また慢性期の効果を評価し、今後の適正使用のための改善点を検討することを目的とします。

**【研究結果の公表】**

この研究は氏名、生年月日などのあなたを特定できるデータを解らないよう(匿名化)にして学会や論文で発表しますのでご了解ください。

**【研究責任者とお問い合わせ先】**

函館五稜郭病院

腎臓内科 村椿 真悟

電話：0138-51-2295 (病院代表番号)